

ななごう

議会だより

4月
2015 vol.137



補正予算	3 ~ 4
予算特別委員会	6 ~ 9
一般質問	10 ~ 14
災害対策特別委員会	16 ~ 17

白岩市長初の27年度予算は135億4千万円

目玉は防災4億円。除雪費は2億5千万円に膨れる。
3人っ子事業は26年度補正の地方創生予算で対応。

3月
定例会

26年度補正予算 減額と国の地方創生予算の審査

事業確定による減額を財政基金に積立 初日上程分

減額は市単独災害復旧事業費の確定分1億6,480万円など
財政調整基金に1億6,347万円を積立、除雪費1億円。
市長報酬減額、除雪費など質疑があった。(詳細は4頁参照)

地方創生交付金1億1,878万円は全額が国の交付金

地域消費喚起型7,160万円の内訳

プレミアム付商品券2,434万円、児童手当受給世帯ハイジア
パーク南陽入浴券1,450万円、低所得者向け商品券3,196万円
など直接効果を有する生活支援。

地方創生先行型4,717万円の内訳

子育て推進事業(3人っ子ハッピーサポート事業)3,884万円など
最終日に追加提案で上程され本会議で審査し総合戦略やプレミ
アム付商品券等の質疑があった。(詳細は4頁参照)

3月定例会を3月3日～20日まで開催した。除雪費の市長専決の承認2件、条例その他29件、補正予算5件、当初予算9件の計45案件を全て承認、可決した。26年度地方創生補正予算1億円超はプレミアム付商品券と子育て推進等にあてる。
白岩市長の初の施政方針はA4判12頁。27年度当初予算は2年続けての豪雨災害に対処する防災と子育てに力を入れた135億4千万円。市長の公約と予算との関連や市政全般の課題について、延べ37の質疑があり、活発に議論を交わした。

27年度当初予算(前年当初比2.0%増)

防災行政無線(サイレン設置)4億円(市内70箇所)

文化会館舞台、音響、照明設置工事3億7,270万円

防災、子育て、文化会館、豪雪被害、市役所陸上部、個人番号、介護、フラワー長井線などの質疑があった。(詳細は6～9頁参照)



一般質問

10～12日の3日間で

9人が一般質問をした。

質問順に概略は次のとおり。(詳細10～14頁)

川合 猛 議員

・中央省庁への職員派遣
・空家を雪置場に

中川 不登校など

高橋 一郎 議員

・持続可能な社会「ロハスシティー南陽」を

・学童放課後の充実
・龍伝説の見える化

板垣 致江子 議員

・市民にわかりにくい
課名変更
・文化会館の友の会
・市役所陸上部の今後について

山口 正雄 議員

・財政健全化と公約
・企業誘致及び立地企業への支援
・南陽ブランド力の強化

高橋 一司 議員

・市民会館の跡地利用

・第2防災センターの設置
・災害対策
・防災訓練の見直し

佐藤 明 議員

・選挙公約と27年度予算
・組織見直しの庁内議論
・財政調整基金の積立額

白鳥 雅巳 議員

・地方創生の施策
・東北中央道完成後の観光施策
・巡回バス及びデマンドタクシー

吉田 美枝 議員

・プレミアム付商品券発行
・地域おこし協力隊
・受動喫煙防止対策の推進

片平 志朗 議員

・空家の現状と課題
・空家バンクと空家基金
・固定資産税

常任委員会付託審査

総務、文教厚生、産業建設各常任委員会報告は14～15頁を参照。

3人っ子保育料無料化

1,000万円

子育て世帯の負担軽減として、第3子以降の保育料無料化。

ハイジアパーク備品購入費

1,800万円

ハイジアパークに屋内遊具を整備して、子育て環境の充実を図るものです。

市道除雪委託料

1億円

平成17年の降雪記録を更新する大雪となり、追加補正するもので、26年度の除雪費総額は2億5,000万円となりました。



26年度
一般会計補正予算
8,707万円
ここに
注目★

10月から中学生の外来診療費等の無料化を行うもの。

779万円

中学生医療費外来無料化

プレミアム付商品券を発行。千円券12枚綴り一万円で発売。市内商工会加盟店で使用可能。

2434万円

プレミアム付商品券発行

住民税非課税世帯・生活保護世帯への生活支援として商品券を交付するもの。地域消費喚起・生活支援として国が支援。

3196万円

生活支援商品券交付



その他の主な事業

☆財政調整基金積立金	1億6,347万円
☆総合文化施設整備基金積立金	585万円
☆ハイジアパーク利用券給付	1,450万円
☆湯の町プレミアム酒番所補助金	80万円
☆特定不妊治療費助成	60万円
☆子育て応援定住交付金	△700万円
☆置広事務組合負担金精算	△2,207万円
☆道路・橋梁事業費精算	△9,999万円
☆災害復旧事業費精算	△1億5,899万円

市庁舎耐震診断業務委託料

600万円

旧耐震基準で設計された建物の耐震診断が義務化されたことにより診断を行うものです。

南陽市総合戦略策定事業費

700万円

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく本市の「地域総合戦略」と「人口ビジョン」を策定するもの。安定した人口構造を保持し、将来にわたって市民が安心して働き、結婚、出産、子育てができる地域社会の構築が目的。

補正予算 3月3日上程分 Q & A

高橋 一郎 議員

◎市が認定した老人世帯除雪費補助を倍額の2万4千円にしたが規則改正は。

〈福祉課長〉 附則改正で2万4千円にした。

◎除雪費用1億円の補正に国の交付金は1800万円しかない。各方面から獲得に努力を。

〈市長〉 記録的な豪雪だ。折に触れて機会を捉えて要望したい。

◎赤湯公民館がえくぼプラザへ移動した際、2階図書館蔵書の重量対策は。市民会館駐車場の解放と管理は。

〈社会教育課長〉 安全

には万全を期していく。

船山 利美 議員

◎市長公約のお年寄りにやさしい除雪に早急に取り組むべきでは。

〈市長〉 除雪組合にもお願いはしたが難しかった。来年度は具体的に組みたい。

◎村山市は除雪費を1.4倍にしても間口除雪に取り組んでいる。人口一人当たり約1万円。本市は7500円くらい。近隣市町も1万円は超えている。公約の実現を。

〈市長〉 本市は豪雨災害を受けて厳しい。効率的な予算の配慮をしていきたい。



佐藤 明 議員

◎市長報酬を任期中10%削減する理由は。

〈市長〉 財政状況もあり子育て等に力を入れたい意気込みだ。

◎米沢市は市長報酬減額20%。職員も6%減額するような情報もある。不祥事でもないのに市長は10%削減する必要はないのでは。

〈市長〉 削減しなければならぬ理由はないが、重点施策への私の思いを理解してほしい。職員給与削減はできるだけないようにしたい。

◎政府が進める地方創生予算について本市はどう取り組むか。

〈企画財政課長〉 地域創生にかかる交付金で、地域経済喚起の経済対策はプレミアム付商品券。地方創生先行型は地方の独自性なので、

市長の子育て事業や地域振興と考え、県と調整中。

◎短期間での申請と聞いているが、具体的なメニューは。

〈企画財政課長〉 今回は26年度補正なので、なるべく早く示したい。

山口 正雄 議員

◎災害復旧費の起債高は3億3355万円。

国の特別交付金の見込みと合わせ、実質公債費比率、将来負担比率への影響はどうか。

〈企画財政課長〉 一般的には災害の起債は将来半額が戻る。本市の標準財政規模は約80億円でその1%8千万円を超えた分を償還年数20年で割った数値が一つの目安となる。

地方創生 補正予算 3月20日上程分 Q & A

高橋 一郎 議員

◎総合戦略策定事業費はどんな内容なのか。

〈企画財政課長〉 人口減少、少子化問題などの地方版総合戦略をつくる一つの事業。出生率、定住率等が上がるかどうかの精査が必要。策定は市が行うが、専門的立場から数値的な支援を必要とするための事業費である。

山口 正雄 議員

◎ハイジアパークの遊具代1800万円計上されているが、総額いくらかかるのか。

〈商工観光ブランド課長〉

交付金事業の条件の中で了解を頂いたもので、まずは、次のステップも検討しながら進めていきたい。



吉田 美枝 議員

◎低所得者向けの生活支援商品券の利用はどうなっているのか。市内に限定しているものか。

〈福祉課長〉 プレミアム付商品券の後に続く事業で、時期をずらして発行したい。利用条件等は新年度に検討するが、市内での利用と考えている。

防災行政無線整備事業

4億円



地震、水害などの災害時に、防災情報を迅速に市民に伝えるため、市内各所に設置する屋外拡声子局（屋外スピーカー）などを通じて、市役所から市内全域に一齐に情報を伝えるためのものです。

より確実な情報伝達ができるよう公共施設等の屋内に戸別受信機を設置します。

番号法導入事業費

7453万円

10月から法律により、一人ひとりに12桁の個人番号が通知されます。28年1月から、個人番号は社会保障、税、災害対策の行政手続きで利用が開始されます。市では、これに伴うシステムの改修、発行業務を行います。

地域おこし協力隊事業費

387万円

都市部の若者らが地方に一定期間住み、地域協力活動を行いながら、その地域の活性化に貢献してもらおう取り組みです。

27年度
一般会計当初予算
135億円
ここに
注目★

27年度は、1名を受け入れて、主に商店街と連携して宮内地区のまちづくりに取り組んで頂きます。



宮内新町商店街

その他の主な事業

☆文化会館管理運営費	8,954万円
☆第5次総合計画後期策定費	320万円
☆ふるさと納税事業費	1,000万円
☆米沢平野国営土地改良負担金	1億5,490万円
☆南陽スカイパークトイレ改修	117万円
☆菊まつり・全国菊花大会補助	2,000万円
☆向山野球場整備事業	600万円

生活困窮者自立支援事業費

1,200万円

生活保護に至る前に、生活困窮者の自立を支援する新しい制度で、就労支援を含む包括的な自立相談の実施と住宅確保給付金を支給するもの。

自立相談は、社会福祉協議会への委託となります。

27年度 当初予算 Q & A

佐藤 明 議員

◎27年度予算編成にあたり基本的な考えは

〈企画財政課長〉地方交付税は減額見込みで厳しい。財政調整基金等を繰り入れて市長の施政方針を具体化した。
◎地方版総合戦略本部は国の要請か。内容は。期限は。
〈市長〉本市の将来、自分たちの生きる道を自分たちの頭で考えていくためだが、国の施策にも乗っていく。
〈企画財政課長〉プレミアム付商品券など消

費喚起型の26年度国の補正分は3月定例会で上程したい。地方創生の戦略は5年の見通し。

◎個人番号カードとはどういうものか。

〈企画財政課長〉マイナンバー制度導入で税や社会保障の情報をICチップ入りカードにするためのシステム改修とカード発行事務。

◎番号法はプライバシー侵害の問題がある。

〈市長〉国の制度であり、社会のためになるようにと思っている。

◎市民生活相談の件数、内容、市の対応は。

〈市民課長〉弁護士は無料相談は115件。相続離婚、借金関係が多い。

◎フラワー長井線の利用実態、沿線自治体の負担金の根拠は。

〈企画財政課長〉25年度実績は64万1千人。通学高校生数が減っ

ている。支援負担6千万円は県が1/3、沿線市町は鉄道距離で算定。

◎介護施設の経営実態は厳しいのではないか。

〈福祉課長〉内部留保が指摘されているが、大規模修繕に向けるものと理解している。

◎介護施設職員の処遇改善は。

〈福祉課長〉国の基準は直接処遇職員のみ月額1万2000円アップ。

◎要支援の新規者の給付は受けられるか。

〈福祉課長〉そのように考えている。1年半かけて検討していく。



◎第6次介護保険事業は、どのような計画で進んでいるのか。

〈福祉課長〉介護需要の調査を行い、特老待機者解消や認知症グループホームの必要性から、第6期計画に施設整備を位置付けた。27年度中に公募を念頭に考えている。

◎それは直営か民営か。

〈福祉課長〉民営事業として促進していきたい。

◎ハイジアパーク料金改定後の影響は。北陸新幹線の開通による観光への影響は。

〈商工観光ブランド課長〉約1ヶ月の入館者は17%減。収入額は昨年と変わらない。北陸新幹線で人の流れは北陸に向かうが、逆に北陸の人が東北へとも考えられる。ポストDCもある。花回廊など置賜

広域で対応していく。◎関口市宮住宅団地の建設はなぜできないか。

〈建設課長〉建て替え用地は病院前に取得しているが、課題もあり検討を要す。公営住宅長寿命化計画で35年度までに改築の方向。

◎脅迫状が市内の教職員にきたのか。どういう対応をしたのか。

〈学校教育課長〉11日の段階では2名その後9名に届いた。

〈教育長〉11日の段階で、警察に被害届をだし、学校ほか関係機関に通知した。

高橋 弘 議員

◎12月の雪による倒木被害は数万本とも。早急に調査し、国・県に働きかけ撤去すべき。

〈市長〉注視し、調査していく。

◎森林サポート事業が

あれば森林整備も助かる。復活できないか。〈市長〉適宜、総合的に判断する。



民営化するやすらぎ荘

◎やすらぎ荘民営化の経緯と進め方は。

〈福祉課長〉建物の老朽化が進む中で、置広理事会で32年度に民営化することで合意した。今後、民設民営のために場所、法人、建設規模等を調査していく。

松山 利美 議員

◎**フラワー長井線経営改善委員会**の協議の内容は。みなし分離方式はするののか。

〈**企画財政課長**〉 高校の定員割れの影響。県の支援増など。みなし分離方式は未定。

◎**ふるさと納税**で南陽産はえぬぎのPRを。米価下落対策にもなる。

〈**企画財政課長**〉 南陽市を売り込むチャンスでブランド力をホームページでも発信する。

◎**6次産業化への支援**内容は。

〈**農林課長**〉 具体的な取り組みがあつた場合、国・県の制度を利用して補正で対応したい。今まで研修会をやってきたが、更に啓蒙していきたい。

◎**内容的には前進していない**。具体的なもの

があるののか。

〈**農林課長**〉 先進地視察等で勉強するとともに、商工観光ブランド課とも連携して進めていきたい。

◎**梨郷小学校**から、雨漏りしていると聞いた。市内の教育施設の修繕の把握はしているののか。

〈**管理課長**〉 把握し修理済みである。各学校で毎年5月に調査をし

て対応している。

◎**現段階で、屋根等の塗装**を考えたかどうか。放置すれば、後々修理費が大きくなるのではないののか。

〈**管理課長**〉 施設によつては、修理が必要なものも出てきているので3か年計画のなかで対応していく。

◎**森林保全関係予算**がカットされている。里

山の破壊は災害や鳥獣被害に結びつく。

〈**市長**〉 他のメニューが準備されているのでそれを活用して整備する。

山口 正雄 議員

◎**市民に対する補助制度**全体を見やすく、利用しやすいように、一覧表にして配布したらどうか。

〈**総務課長**〉 可能なものは、調整したうえで検討していきたい。

◎**ハイジアパーク料金**改定後の売上げ状況は。

〈**商工観光ブランド課長**〉 前年対比で6万円の減少になつている。

◎**値上率と客数減少率**からすれば、売上は上がるはず。旧料金回数券でのお客様が相当数おられると思う。経営黒字化に向けて、料金改定の効果に留まるこ



新しくなったハイジアパークロッカー

② 市のマイクロバス
③ 教育委員会対応

◎**除雪車が物損事故**を起こした時はどこに言えば良いののか。

〈**建設課長**〉 除雪業者か、建設課に連絡してほしい。

◎**市長は高齢者**にやさしい除雪と言われたが昨年と同額では少ないのではないののか。

〈**市長**〉 なお一層除雪に力を入れていく。

吉田 美枝 議員

◎**雇用促進住宅**の状況は。市営住宅として買上げられることは。

〈**商工観光ブランド課長**〉 福島からの避難者14戸55名、ほか1世帯4名避難特例は28年3月まで延長された。

〈**企画財政課長**〉 時限立法で震災前は高額だったが、現在は凍結している。

となく、しっかり経営努力をして頂きたい。
◎**公民館事業**の中で、保護者が出席できない場合、職員が小学生を自分の車に乗せる場合がある。社会教育課の見解は。
〈**教育課長**〉 社会教育課では原則として保護者にお願ひしている。今後、次の順位で対応したい。
① 保護者対応

27年度 当初予算 Q&A

田中 貞一 議員

◎沖郷学童保育は今後、広く快適な環境が必要と思うがどう考えているか。

〈市長〉広い環境を用意したいが、課題があるので、調査研究して考えていきたい。

◎第三学童（島貴公民館）は28年度までの契約。県道で歩道のある場所に、沖郷地区を一カ所にまとめてはどうか。

〈福祉課長〉27年度中にしかるべく方法を考えていく必要がある。

◎戦略的園芸産地支援事業の内容は。

〈農林課長〉花卉部会、アルストロメリア及びダリア部会、ぶどう部会の取り組みなど。

◎4年後には高速道路が全線開通。市長が言う高畠・南陽インター付近に物産販売の拠点づくりの見通しは。

〈市長〉核となる施設の要望を中央官庁にしてきた。その感触を見極めながら考えていく。

◎旅館に雪が崩れて壊れたそうだが、急傾斜地の雪の対応は。



沖郷第3学童 島貴公民館

〈危機管理課長〉県で擁壁をつくって対応している。県でパトロールも行ってほしい。市に連絡してほしい。

◎結婚推進事業費の内容は。

〈市長〉昨年と同額だが、内容については考える。

◎3人子政策も大事だが、その前に結婚してもらうことが大事だ。行政主体で出会いの場をつくってほしい。

〈副市長〉南陽市は県内でも実績が上がっている。男性の会話の仕方など、勉強が必要。女性が集まらなく苦慮しているのが現状である。

◎インターネットやウェブサイトを活用して幅広く集めてほしい。農業など同じ職業の方々の、出会いの場も検討してほしい。

片平 志朗 議員

◎ナラ枯れの現状は。また、倒木と立ち枯れが目立ってきている。

防災面での対策が必要ではないか。

〈農林課長〉ナラ枯れは一時期より落ち着いてきている。また、倒木や立ち枯れについては、予想される範囲を定めて防災対策を講じていきたい。

◎民有地の荒廃林整備事業の補助申請する手続きは。

〈農林課長〉森林組合が直接農林課にお話し頂きたい。

◎市民は制度そのものがわからない。補助制度の在り方も検討してほしい。

◎土のうを緊急時に取りに行くのは大変なので近くに置けないか。

〈危機管理課長〉昨年

の被害の後、消防団と地区民で土のうを作り保管している地区もある。市の水防庫、消防団のポンプ庫にも保管している。砂は消防署防災センターにも準備してある。

白鳥 雅巳 議員

◎地域おこし協力隊を1名募集するが、今後の計画は。

〈企画財政課長〉協力隊の活動には受け皿が必要となるので、その辺を見極めながら拡充に取り組む。

◎交流プラザの暖房が利かないとの苦情への対応は。

〈商工観光ブランド課長〉交流プラザは構造的な問題もある。早く温めたり、冬場は利用申し込み時に説明している。財政の長期計画で調査をする。

◎通学路の安全点検の状況は。

〈学校教育課長〉安全点検は、各学校単位で行っている。通学路安全推進会議を立ち上げ、国・県と連携を図り対応している。

◎特色ある学校経営事業補助金の内容は。

〈学校教育課長〉何にでも使える訳ではないが、各学校にあった使い方をしていく。学校評議員の謝礼も含まれている。



交流プラザ蔵楽（くらら）

川合 猛 議員

◎市役所陸上部員の移籍に強い憤りを感じる。市長の考えは。

〈市長〉 新聞報道については、知り得なかった。移籍は個人のことなので尊重するべき。

現在の陸上部の職員には、仕事外ではあるが市民に夢を与えるべく頑張っていた。◎私は廃部もやむなしと思う。陸上を辞める職員は適性に合った職種につかせたらどうか。

〈市長〉 それぞれ、適材、適所に付いているが、なお検討する。

高橋 一郎 議員

◎市役所陸上部と民間の陸上部ができるが連携するべきでは。

〈教育長〉 官から民へは、やむをえないこととしても、公務員ラン

ナーとして頑張っている。意義は大きいと思う。教育委員会でも、残った職員には、子供たちの夢のためにも頑張ってもらおう。そのための協力は惜しまない。



〈市長〉 民間でできることは民間でやり、市としても連携できることはやっていく。

◎学童指導員の増員と待遇改善は。

〈福祉課長〉 増員と併せ間違いなく質的な改善も図られていく。

◎学童保育の位置づけについての認識は。

〈市長〉 共働きでニーズが高まっている。広

い環境の中で、伸び伸びと交流や勉強のできる場を整えていきたい気持ちはある。

◎第3子の保育料無料化は学童保育料にも適用するののか。

〈福祉課長〉 その適用はないが、生活保護、準用保護世帯には利用料を半額にする制度にも取り組んでいる。学童保育まで広げるかどうかは今後の検討課題。

◎3人っ子の子育てで問題を抱えていることにも対応すべきでは。

〈市長〉 そのような相談体制がとれるよう努力していきたい。

◎保育料無料化の所得制限は。

〈福祉課長〉 市民税が夫婦合わせて9万7千円以下を想定している。

◎文化会館の舞台装置・音響設備のグレードは。市民会館で使え

るものはないか。

中。

〈文化会館整備課長〉

県内類似施設「希望ホール」と同グレードで設計。市民会館は調査中で使えるものは使いたい。

◎プロの要望に応えられるものなのか。

〈文化会館整備課長〉 プロの持ち込みもあるので基盤的なものは充実。経費面で移動型のものも設計されている。

◎出入り口の信号調整、アクセス道の状況は。

〈文化会館整備課長〉 信号は関係機関と調整

〈建設課長〉 市役所南線と若狭郷屋2号線は26年度完成。市役所北線は27年度事業。

◎ハイジアの温泉は加温が必要で将来的にコスト高。新たな源泉を掘ることの考えは。

〈市長〉 燃料費代は全館一括なので加温コストはわからない。新たな源泉は将来的に課題と思うが、源泉借地相手や財産区とも相談していく。

◎若者が多く訪れるスカイパークは南陽のブ

ランド。水道が必要だ。

〈市長〉 観光の目玉として、今後検討していく。

◎池黒峰岸地区の土砂災害危険区域について、その後の進捗は。

〈建設課長〉 27年度に県事業で調査設計の予定で負担金を予算計上。

◎課名変更でブランド、スポーツ文化、保健を削除したのはなぜか。

〈市長〉 庁舎全体の効率的な運営とすこやか子育て課はワンストップサービスを目的。



木の香りが漂う文化会館



スカイパークのログハウス

小規模学校の 統廃合はどうするのか

川合
猛
議員



◎文部科学省は、1月19日に59年ぶりに公立小中学校統廃合の手引案として、1学年1学級以下なら統廃合との検討要請が出された。どうするかは、各自自治体の判断とするとのことだが、市教育委員会としては今後どのように進めていくのか。

〈教育長〉市内の小学校で、1学年1学級以下に該当するのは4校ある。公立小中学校の統廃合の判断は、設置者の地方公共団体の責任で行われる。教育委員会としては、市長部局と連携を密にし、丁寧に検討を進める。その際、小規模校のメリットやデメリット、これまでの統廃合の経緯や課題などについて、しっかりと地域住民に説明責任を果たし、最終的には地域住民の声や願いを最大限に尊重しながら進めてまいりたい。

◎今後複式学級が増えていく、当面現行のままであれば、南陽市独自の加配措置を強く望みたい。

◎今年の大雪を踏まえ特に町なかだが、年々増えている空き家を買上げ、更地とし雪置き場にして、雪の無い時期は駐車場にするなど活用できないか。

〈市長〉市内には、道路が狭く住宅が密集し、雪の堆積場所を確保できず、除雪がままならない箇所もある。今後「南陽市空き家等対策計画」を策定し雪置き場としての活用についても、同計画の策定の際に検討してまいりたい。

観光戦略 龍伝説と仮装パレード 子育て、お年寄りへの施策を問う

高橋
一郎
議員



人が集まり賑わうまち

◎戦略的な観光として

①龍伝説の見える化は

〈市長〉龍伝説見える化は面白いアイデア。市観光協会で具体的な事業展開を期待したい。

②温泉観光アドバイザー(ソムリエ)の拡充は

〈市長〉市観光協会が観光案内と入浴方法を教えるアドバイザーの認定制度を創設した。27年度も拡充すると聞いている。

◎文化会館のユニークな活用。菊祭り仮装カーニバルと合わせてコスプレショーの企画は。

〈市長〉「南陽スタイル」として、他会館ではできない事業の展開を検討したい。

子どもを産み育てやすいまち

◎育児休業・休暇制度活用の環境づくりは。

〈市長〉少子化対策は

国を挙げて取り組む課題。市内事業所の数値は把握していないが、山形労働局、県から表彰を受けた企業もある。

◎学童保育の充実策は。

〈市長〉すこやか子育て課を新設し、充実強化に向けて取り組む。

◎日本の教育、スポーツ文化活動具体策は。

〈市長〉陸上経験ある職員を小中学校に派遣し4年間で延べ58回指導。放課後子どもスポーツも開催している。年をとっても安心して暮らせるまち

◎お年寄りが雪の始末、移動の足で困っている。

〈市長〉区やボランティア団体等で協議体をつくり、生活支援を多面的に検討したい。

◎空き家の活用策は。

〈市長〉「南陽市空き家等対策計画」を策定し検討したい。

なぜ「保健課」が「すこやか子育て課」か 高齢者が迷うのでは!?



板垣致江子議員

- ◎なぜ「保健課」を「すこやか子育て課」とするのか? 市民にわかりにくいし、高齢者切り捨てのような感じも受ける。職員の負担もふえる。「健康子育て課」で良かったのでは。
- 〈市長〉子育てに関わる窓口を一本化するため。市民には職員がいねいに案内をする。
- ◎文化会館に部署を置くことされる「みらい戦略課」の重点施策は。
- 〈市長〉第5次総合計画の後期計画の策定、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地域総合戦略の策定及び、文化会館運営業務など。
- ◎文化会館事業は市民も関心と期待をしているが、チケットの販売・購入・スタッフなど課題も多い。友の会のような応援団組織を早急につくるべきでは。
- 〈市長〉見学会の後に自主事業等のボランティアスタッフを募集したい。応援団組織も今後検討していく。チケット販売は市民優先先行販売やコンビニ・ウェブ販売等も行う。
- ◎市民が気軽に立ち寄れるスペース作りに、また文化の継承に芳武茂介氏や小関賢一画伯等の作品の常設展示を。
- 〈市長〉展示位置や作品について関係課と協議、検討中。市民の方には展示ギャラリーやラウンジを大いに活用いただきたい。
- ◎今後の市役所陸上部への市長のお考えは。
- 〈市長〉これまでどおり公務員としての職務に専念しながら、練習時間を確保し、できる限り本市の知名度アップのために頑張りたい。



山口正雄議員

財政健全化と公約実現のバランスをどう取るか 工業団地の事前準備についての考えは

- ◎市財政が厳しいなか、財政健全化と公約の実現をどうバランスしていくのか。
- 〈市長〉財政健全化をはかるため、長期財政計画及び公共施設等総合管理計画を策定し、効果的な事業実施を目指すしていく。
- ◎経常収支比率が高い状況において、財政調整基金をどう確保していくのか。
- 〈企画財政課長〉経常収支比率算定から除外されている項目もあり、一概に何もできないというわけではない。
- ◎実質公債費比率は今後高まる傾向にある。下げるには繰上償還以外にない中で、全ての公約を実現していくのは大変だと思うが。
- 〈市長〉本市の将来を確かなものにしていくためにも、繰上償還や事業をしっかりと出来る体質にしていきたい。
- ◎企業誘致にあたって、工業団地造成の事前準備についての考えは。
- 〈市長〉梨郷団地の分譲を最優先しながら並行して検討したい。
- ◎南陽丸ごとブランド推進の将来イメージは。
- 〈商工観光ブランド課長〉南陽市を認知頂き、商品購入や魅力あるまちを感じながら訪れて頂き、相互交流から更なる発展へとつながればいいと思う。
- ◎菊まつりに、どうしたらお客様に来て頂けるか、楽しんでもらえるかの工夫が必要では。
- 〈市長〉日本一歴史ある大切な観光資源だ。市民の誇りの拠り所となる文化継承事業で、多くの方々が合意して頂ける形で魅力あるものにしていくと思う。

答 弁 要 旨

南陽市民会館の跡地利用はどうか

高橋 一司 議員



◎3月末で市民会館が閉館されるが、地区の資材等保管場所はどうか。

〈市長〉安全に保管できよう、関係機関と協議しながら早急に決定する。

〈社会教育課長〉祭りの神輿は、えくぼプラザに保管。和太鼓は赤湯小学校に、大太鼓は文化会館に飾れるよう関係各課と協議し対応する。地区の資材は現在そのまま保管する。

◎解体撤去の予定は。

〈市長〉閉館後の安全管理上の面からもできる限り早く解体したいと考えている。

◎解体撤去の費用は。

〈市長〉建物の解体だけで1億円、地中物も撤去すれば合わせて2億円となる。

◎指定避難場所が減るがその対応は。

〈市長〉当面は市の施設を活用する。避難所指定していない赤湯幼稚園も活用していく。

◎閉館後の駐車場については。

〈市長〉地区の要望があり安全に配慮して解放する。

◎閉館後、照明も無くなることから、防犯上問題があると思われるが対応出来ないか。

〈市長〉照明は庁内で検討する。

◎第二防災センターの計画は。

〈市長〉吉野川流域には、必要と考えているが、市民会館跡地には考えていない。

◎防災マップを子供たちにとってもらったらどうか。

〈市長〉大変良い考えなので、自主防災会に協力を依頼する。

選挙公約、介護保険政策の具体化は

佐藤 明 議員



◎「アベノミクス」で地方の衰退を更に加速し、医療や福祉・介護への国庫負担の削減、輸入自由化政策が地方の産業に打撃を与えている。だからこそ住民を守る「防波堤」としての役割が重要である。当初予算にどう反映されたのか。

〈市長〉重要施策としては防災無線整備事業に4億円、3人つ子サポート事業に1050万円等を計上した。

◎公約した基本政策の具体化は。

〈市長〉基本的には安定的な歳入の確保。不要不急事業の見直しによる歳出の抑制。市内産業の活性化を促し雇用の確保につなげる。

◎第6期介護保険事業の具体化は。

〈市長〉重点目標は地域包括支援センターの

拡充。認知症初期集中支援チームの設置や予防教室の拡大。高齢者の生活支援及び介護予防サービスの体制整備のコーディネート等の設置等を盛り込んだ。

◎入居待機者が南陽市は約150人、全国では52万人ともいわれているが施設整備の考えは。

〈市長〉施設整備の面では、29年度に地域密着型の特老ホーム1施設、認知症対応型のグループホーム2施設の開設を予定している。

◎介護報酬は3年に1度見直しがあり、今回は2.27%引き下げられたが各施設の影響額は。

〈市長〉聞き取りによれば80床特老ホームで約900万円、18床グループホームでは約140万円の減収の見込。小規模な事業所ほど厳しい状況だと認識している。

地方創生に向けての取り組みは



白鳥 雅巳 議員

◎新しい人の流れをつくる施策は。

〈市長〉 地域総合戦略で、産業・農業振興策の検討、若者の定住策を最優先に検討する。

◎若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策は。

〈市長〉 マニフェストで掲げた施策を精査し、企業の協力等、安心して子供を産み育てられる環境づくりと「3人っ子政策」を柱に切れ目のない支援策をする。

◎東北中央自動車道の開通によって受ける観光への影響は。

〈市長〉 開通となれば隣県や首都圏から多くの車の乗り入れが予想され、観光交流拡大の大きなチャンスである。多くの旅行者の誘客も課題であり、多くのマイカー旅行者への着地型の観光プログラムの

充実を図っている。今後は赤湯温泉を核とし、みちのくおとぎ街道ややまがた花回廊、置賜さくら回廊と連携し、

連泊できる受け入れ体制づくりを進めながら、地域経済への波及効果へと繋げていく。また、

効果的な誘導案内の設置も課題と捉えている。

◎9月定例会質問の市内巡回バス及びデマンドタクシーの運行はどうなっているか。

〈市長〉 西部地区バス路線の梨郷地区を調査した。道路幅・冬期間・最大乗客数等を勘案し、難しい面もあるが、今後とも、より利便性の高い運行をしていく。デマンドタクシーについては山形市のデマンド型乗合タクシーを参考に調査研究し、地域に合った交通を引き続き検討する。



吉田 美枝 議員

宮内地区に地域おこし協力隊員まちづくりと商店街活性化に取り組む

◎プレミアム付商品券発行の詳細は。

〈市長〉 国の26年度予算の地域住民生活等緊急支援交付金を活用して実施するものだが、

まだ国と協議中である。◎これまで以上の上乗せ率(20%)で、より

インパクトを持たせ、地域の消費喚起を促して欲しい。

◎中心市街地に地域おこし協力隊員を配置することのことが、具体的に構想は。

〈市長〉 4月から宮内地区に隊員1人を採用。商店街と連携し、大都市で生活してきた若者の斬新な視点で、熱意と行動力を持って、行政では出来ない柔軟なまちづくりと商店街活性化に取り組んでもらう。隊員は現在人選中。

◎今後、南陽市総合戦

略の中で、地元の資源である森林、木質バイオマスを活かした森林再生事業に、地域おこし協力隊制度の活用を是非検討いただきたい。

◎市内公共施設の受動喫煙防止対策実施状況と、今後の取り組みは。

〈市長〉 市内公共施設66施設のうち、敷地内禁煙20施設、建物内禁煙45施設、不完全分煙は議会棟の1施設。タバコと健康に関する知識の普及活動や事業所での分煙の推進を図る。また、妊娠、出産、育児期におけるタバコの影響について、市の保健師が各種検診時や家庭訪問で周知を図る。さらに小学校での防煙教室、大人向けには禁煙の個別相談等に取り組んでいく。

一般質問と答弁要旨

増え続ける空き家をどうする！ 法の施行により踏み込んだ対策を

片平 志朗 議員



◎人口減少に伴って毎年増え続ける空き家が社会問題となっている。国は「空家等対策の推進に関する特別措置法」を制定し、規制に乗り出している。本市での空き家の現状と対策を今後どのようにしていくのか。

〈市長〉本市における空き家は2月末現在で577件ある。「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部が5月26日に施行されるので、特定空き家の指定を行う。

◎「空き家バンク」の創設は。

〈市長〉今後策定する「空き家等対策計画」の中で検討していく。

◎「空き家基本条例」の制定は。

〈市長〉「空家等対策の推進に関する特別措置法」で空き家の立ち

入り調査、指導、勧告命令、行政代執行の措置が取れると定められているので、基本条例は制定せず、法に基づき推進していく。

◎空き家を解体すると現行の優遇措置がとかれ、固定資産税が3倍から6倍になることから解体の障害となつている。解体後の税の優遇措置は考えているのか。

〈市長〉税の公平性から優遇措置は考えていない。この度の改正では「特定空き家」に指定された場合、この税の優遇措置から除外する方向で検討されている。



審査報告

教育委員長と教育長が一本化に 文化会館の設置条例を制定

総務 常任委員会

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正

教育委員長と教育長が一本化され、新たに教育長となり、一般職から特別職に変わる。

◎南陽市文化会館の設置及び管理に関する条例の制定

建物が完成し、地方自治法により設置及び管理に関する条例を定めるもの。

◎南陽市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

◎南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

「市長報酬の減額」、「教育長の給料月額の設定」及び「教育委員長の報酬月額の削除」並びに「非常勤職員の月額報酬」を改定するもの。具体的には、市長報酬月額の10%削減

(市長の在任期間)
◎南陽市行政手続条例の一部改正

付託5議案は全員異議なく可決。
◎南陽市課設置条例の一部改正

業務を効率的に運用するため、課の統合及び名称変更を行う。具体的には企画財政課を「みらい戦略課」と「財政課」に分割し「みらい戦略課」内に文化会館担当を置く。保健課を「すこやか子育て課」に、危機管理課を「総合防災課」に、商工観光課を「商工観光課」に変更。委員

から国保医療や健康予防業務は残るので、「すこやか子育て課」の名称では市民が混乱するとの意見が出された。採決の結果、賛成多数で可決された。
(委員長 白鳥 雅巳)

※「特定空き家」とは…そのまま放置すれば倒壊、保安上危険な状態や、また著しく衛生上有害となる恐れや景観を損なっている状態などと認められた空き家。

審査報告

子ども子育て支援制度のスタート 介護保険料の15%値上げ(第6期)



付託議案18件、すべて全員異議なく可決。

〈主な審査議案〉

- ◎南陽市中央公民館設置条例を廃止する条例
- ◎南陽市公民館条例の一部改正
- ◎南陽市民会館条例を廃止する条例

昭和43年建設の市民会館が老朽化により今年度で廃止。赤湯公民館をえくぼプラザに移転し中央公民館を廃止する。中央公民館の役割である学習機会の提供や、地区公民館等運営支援は社会教育課がそのまま引き継ぐ。

◎南陽市介護保険条例の一部改正

第6期介護保険事業計画に基づき、標準保険料現行月額4700円を5400円とすること。低所得者の保険料軽減を強化する。家族の介護の評価と支援

のため、重度要介護者の介護手当を創設する。新しい給付事業について経過措置を設ける。

- ◎南陽市立幼稚園設置条例の設定
- ◎南陽市保育所設置条例の一部改正

27年度から子ども子育て支援法が施行されるにあたり「赤湯幼稚園」の使用料は、国が定める基準を上限として市長が定めるが、現在と同じ額とするもの。「こぼと保育園」の保育料は、市民税所得割ベースの応能負担となるが、現在の保育料を基本とする。

◎南陽市公共8施設の指定管理者の指定

7施設は南陽市体育協会に、1施設は県ライフル射撃協会に指定する。

(委員長 吉田 美枝)

審査報告

企業立地促進奨励金の充実 道路占用料4割程度安くなる (道路法施行令の改正)



付託議案5件、審査の結果、すべて全員異議なく可決。

- ◎南陽市法定外公共物の管理に関する条例の一部改正

南陽市道路占用料徴収条例の規定と整合させ、消費税法の取り扱いに差異のないようにすること。

◎南陽市手数料条例の一部改正

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部改正に伴うもの。

◎南陽市企業立地促進条例の一部改正

企業立地奨励金の充実に図るため新たな優遇策を行うもの。

- ◎南陽市道路占用料徴収条例の一部改正
- ◎南陽市都市公園条例の一部改正

道路占用料徴収条例の改正に併せ都市公園条例における使用料等の占用料について一部改正を行うもの。

(委員長 川合 猛)



造成された梨郷農工団地

※「法定外公共物」とは…道路法、河川法、下水道法、海岸法等の法の適用がなく、登記上私有権が設定されていない公共物。里道、普通河川、水路、ため池、堤等がこれにあたる。

活動報告

7・9豪雨災害調査・検討

災害対策特別委員会

3月定例会最終日

災害対策特別委員会

委員長報告(全文)

委員長 殿岡和郎

災害対策特別委員会の経過と結果について報告いたします。

去る、26年8月4日

の臨時会において、災害復旧並びに防災対策などの調査研究を行い適切な対応を図るために、委員6名で構成される「災害対策特別委員会」を設置、委員長に私殿岡、副委員長に川合委員が選任されたところであります。

当委員会では、設置されて以降市内各地区での災害地視察及び13回にわたる同委員会の開催と協議を重ねてきました。加えて、全委員6名が市内8地区で実施された防災座談会へも積極的に出席し、

市民の切実な生の声を聞き、鋭意慎重に調査検討を行って参りました。

その調査経過と結果について報告いたします。



冠水する白竜湖周辺

平成26年7月9日夜半から10日未明にかけての記録的な豪雨により、一級河川吉野川、織機川及び前川並びに菖蒲沢川が氾濫、河川の流域から市街地までの広範囲にわたり浸水被害が発生し、土砂崩れ等により甚大な被害を受けました。



現場視察

当議会といたしましても、全市民の生命の安全と安心の確保、一日も早い復興に向けて、様々な角度から調査検討をすべきと考え「災害対策特別委員会」を設置し検討することとなりました。

委員会では、被災者の一日も早い復興と生活再建など具体的に29項目に取りまとめ、南

陽市及び国、県に対し、防災対策要望書を提出してまいりました。

その結果、南陽市道の災害地の復旧をはじめ、林道整備、吉野川河川災害復旧等関連緊急事業・織機川災害関連事業として採択され、豪雪の中にもかかわらず、復旧、復興に向けて、確かな歩みを進めている現況であります。

今後は各地災害現場の復旧状況を視察、検分すると共に、南陽市及び国、県に要望した29項目の精査、再度災害に対する市民の生の声をすいあげ、雨水幹線の整備事業、砂防事業、急傾斜事業、防災行政無線システムの整備等、市民の要望にこたえるべく、議会として



防災座談会の様子

は取り組んでいかなければなりません。

市民の安心、安全を守るため、南陽市及び国、県に対し、災害復旧、防災対策については積極的に行動を続けてまいります。以上、当局におかれましては、これらを十分考慮に入れて復旧復興のための事業に着手されますよう

う期待いたします。

なお今後も、事業の遂行にあたっては見守っていきたいと考えております。

委員各位のご協力に感謝申し上げます、委員会報告とします。

災害対策特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 殿岡 和郎 |
| 副委員 長 | 川合 猛 |
| 委員 員 | 高橋 一郎 |
| 委員 員 | 舩山 利美 |
| 委員 員 | 吉田 美枝 |
| 委員 員 | 高橋 篤 |



11月6日 白岩市長へ手わたす

災害対策要望書

1 市への要望

- 1 避難場所と方法の検討
- 2 自主防災組織の日頃の訓練、活動強化
- 3 隣近所・地区内の結束、自助、共助の啓蒙
- 4 小滝、荻、太郎地区、織機川の上流に雨量計設置
- 5 荻中央線、東向地区の早期復旧と土砂流出防止施設の設置
- 6 側溝の蓋あげ器具を各地区に配備
- 7 菖蒲沢川の本格的な改修
- 8 関口住宅のトイレのかさ上げと水路の改修
- 9 お年寄りへの災害伝達手段の再検討
- 10 農用地、宅地への流入土砂の捨場の確保
- 11 災害時の重機の手配、地区外からも含め対応
- 12 現地にも災害対策本部を設け、現場に合った対策を
- 13 フラワー長井線による排水不良地の改良
- 14 砂塚地区の側溝整備を下流域から早期に
- 15 災害時の対応は危機管理課一本に統一
- 16 災害対応は緊急を要するため、危機管理課は1階に
- 17 市管理河川の流木処分及び河川隣接地の立木の伐採と早期処分（行政側での強制的処分）

2 国・県への要望

- 1 吉野川及び織機川の上流に砂防ダムの設置
- 2 国道13号を横断する赤湯清水町、北町等の暗渠改修
- 3 赤湯、大橋地区の河川合流地点の改修と水門の設置
- 4 一級河川隣接地の立木の伐採と早期処分
- 5 金山、尾島地区、宮内北部の急傾斜地の改修
- 6 中川地区前川の大改修の早期着工
- 7 中川、小巖橋の早期開通
- 8 漆山地区西北部の急傾斜地指定の見直し
- 9 二次災害を防ぐため流木処分の早期対応
- 10 住民への河川改修の説明は早く具体的に
- 11 災害を未然に防ぐ森林対策を徹底的に
- 12 梨郷地区の北西側に土砂崩れ防止工事の実施

議案採決結果表

議案番号	議案名	採決結果
承第1号	平成26年度一般会計補正予算（除排雪経費専決処分）	承認
承第2号	平成26年度一般会計補正予算（除排雪経費専決処分）	承認
議第1号	平成26年度一般会計補正予算	可決
議第2号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算	可決
議第3号	平成26年度介護保険特別会計補正予算	可決
議第4号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
議第5号	平成27年度一般会計予算	賛成多数可決
議第6号	平成27年度国民健康保険特別会計予算	可決
議第7号	平成27年度財産区特別会計予算	可決
議第8号	平成27年度小滝簡易水道事業特別会計予算	可決
議第9号	平成27年度育英事業特別会計予算	可決
議第10号	平成27年度介護保険特別会計予算	可決
議第11号	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算	可決
議第12号	平成27年度水道事業会計予算	可決
議第13号	平成27年度下水道事業会計予算	可決
議第14号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の設定	可決
議第15号	南陽市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定	可決
議第16号	南陽市文化会館の設置及び管理に関する条例の設定（文化会館の完成に伴うもの）	可決
議第17号	南陽市立幼稚園設置条例の設定	可決
議第18号	南陽市中央公民館設置条例を廃止する条例の設定	可決
議第19号	南陽市公民館条例等の一部を改正する条例の設定（赤湯公民館がえくぼプラザに移転）	可決
議第20号	南陽市民会館条例を廃止する条例の設定（文化会館が完成に伴うもの）	可決
議第21号	南陽市課設置条例の一部を改正する条例の制定	賛成多数可決
議第22号	南陽市行政手続条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第23号	南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第24号	南陽市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第25号	南陽市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第26号	南陽市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定（中川小学校釜渡戸冬期分校の廃止）	可決
議第27号	南陽市スポーツ推進審議会に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第28号	南陽市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第29号	南陽市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第30号	南陽市介護保険条例の一部を改正する条例の制定（第6期介護保険料の改定等）	可決
議第31号	南陽市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第32号	南陽市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定（用地・建物取得奨励金の創設）	可決
議第33号	南陽市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第34号	南陽市都市公園条例の一部を改正する条例の制定	可決
議第35号	南陽市総合公園の指定管理者の指定	可決
議第36号	中央花公園の指定管理者の指定	可決
議第37号	向山公園の指定管理者の指定	可決
議第38号	南陽市赤湯市民体育館の指定管理者の指定	可決
議第39号	南陽市武道館の指定管理者の指定	可決
議第40号	南陽市沖郷体育館の指定管理者の指定	可決
議第41号	南陽市民プールの指定管理者の指定	可決
議第42号	南陽市ライフル射撃場の指定管理者の指定	可決

※ 議案に対する議員の賛否表（賛否が分かれたもの）

議案	議席番号 氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		高橋一司	高橋一郎	船山利美	山口正雄	白鳥雅巳	片平志朗	吉田美枝	梅川信治	川合猛	高橋弘	板垣致江子	高橋篤	田中貞一	遠藤榮吉	佐藤明	伊藤俊美	殿岡和郎
議第5号	平成27年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	○
議第21号	南陽市課設置条例の一部を改正する条例の制定	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○

○=賛成 ×=反対 議=議長は採決に加わらない

広域議会報告

置賜広域病院 組合

27年置賜広域病院組合2月定例会は、2月9日南陽市議場で開催された。

提案された4議案は全て可決された。

◎26年度事業会計補正予算

4月からの患者の動向、予算の執行状況、3月末までの業務量の見込み等補正するもので、収入総額を31億8449万円、支出総額を31億8509万円とするもの。

◎27年度事業会計予算
今年度の実績を基本とし、第3次病院改革プランを踏まえ、また年間入院患者数、年間外来患者数を見込み、



公立置賜総合病院

収入総額を23億6937万円、支出総額を23億8737万円とするもの。

◎権利の放棄について

使用料及び手数料にかかわる過年度未収入金のうち、回収が事実上不可能と判断され、かつ時効起算日から3年を経過している未収入金債権を放棄するもの。

◎病院組合特別職の職



南陽病院

収入総額を23億6937万円、支出総額を23億8737万円とするもの。
◎権利の放棄について
使用料及び手数料にかかわる過年度未収入金のうち、回収が事実上不可能と判断され、かつ時効起算日から3年を経過している未収入金債権を放棄するもの。

置賜広域行政 事務組合

◆各地区消防署の改築を着手（広域消防）

2月23日置賜広域行政事務組合定例会が、米沢市議会棟で開催された。提出議案は8件で審議の結果全て可決された。
提出議案は次のとおり。

◎高畠消防署建設工事

請負契約の締結
請負金額
3億9744万円
請負者
羽山総合建設株式会社

◎26年度一般会計補正予算

◎26年度ふるさと市町村圏事業費特別会計補正予算

◎26年度消防特別会計補正予算

◎27年度一般会計予算

歳入歳出は39億81

26万円。

◎27年度ふるさと市町村圏事業費特別会計
歳入歳出は418万円。

◎27年度消防特別会計

予算
歳入歳出は25億9086万円。

◎千代田クリーンセンター焼却施設長寿命化改良工事請負契約の締結

請負金額
18億2520万円
請負者
株式会社タクマ東京支社

◎南陽消防署も耐震診断の結果改築予定

昭和52年に建設された南陽消防署は老朽化が進み、このたび前倒しで耐震診断が行なわれ、その結果耐震指標であるIS値が0.35と低いことから早期に改築することに決定した。

建設予定地

建設地は防災センター

（沖郷公民館）西側の空き地。完成予定は平成28年度。

建設地は防災センター

建設地は防災センター

建設地は防災センター

建設地は防災センター



南陽消防署



建設予定地

議会運営委員会視察レポート

地方創生に向けた

取り組みをどうすべきか

27年2月9～10日の2日間議会運営委員会行政視察を行った。全国議長会の議会活性化の研修会とは別にこの度は、新制度の地域創生に向けた取り組みについて、遠藤議長と参議院議員岸宏一氏の計らいにより研修することができた。



講師は
総務省、
地域力創
造グルー
プ

地域政策課長の猿渡知之氏。今回の視察は正副議長、議会運営委員と市企画財政課2名、会社社長など3名が参加した。講演内容は、地域経済再生の推進と地方創生に向けた取り組みや、地域密着型企業の創業支援による雇用創出について聴講した。特に心に残ったことは、

1. 東京一局集中に歯止めをかけ人の流れを変える。
 2. 魅力ある地域づくりを支援し、地域資源や恵まれた生活環境を活かして、多くの雇用機会を創出するなど。先進地での事例などを交えてのわかりやすい研修だった。質疑ではそれぞれの立場から多くの質問があり、とてもいいねいに答えていただいた。
- 今回の視察で得たものを行政、議会、会社に反映されることを願いたい。
- (委員長 梅川 信治)



表紙の写真

4月7日、市内初の「認定こども園」として、昨年(26年)6月30日に完成した「宮内認定こども園」が、木の温もりと香りが漂う園舎で、27年度の入園式が執り行われました。パパ・ママに抱っこされた乳幼児も、5歳児の大きな歓迎の歌声に、



目を丸くして聞き入っていました。
(編集委員 船山利美)

市政を質す!! 100回目の一般質問

佐藤明議員(当選6回7期目)は、3月11日の本会議で堂々の一般質問を行い、通算100回目の金字塔を打ち立てました。

これは、南陽市議会としては初の快挙で、質問を終えて遠藤栄吉議長から花束が贈られ、偉業を称えられました。佐藤明議員は昭和63年3月に初当選して以



来、一貫して庶民のくらしの安定を追及してきました。

市長4代にわたり、一般質問はもとより予算委員会などでも市長や当局の姿勢を鋭く質してきました。

編集後記

春の香りの「ふきのとう」や「きたち菜」が食卓にのぼり、暖かな日差しに包まれていると、心も少しずつ華やいできます。しかし、2年続けての水害のあとの大雪でした。雪解けとともに農作業がはじまり、雪害に苦慮されている農家の方もおられます。雪解けが一気に進み吉野川も織機川も水かさを増しています。これ以上何事もない事を祈り、皆で心をくばっていきたくと思います。(板垣)



委員長 高橋 一郎
副委員長 船山 利美
委員 高橋 一司
山口 正雄
片平 志朗
板垣致江子